

令和7年度使用教科用図書(中学校)の採択理由

教科	種目	発行者番号 略称	採 択 理 由
国語	国語	2 東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報と論理の学び」では、情報と情報との関係の捉え方や、分類や比較などの情報の整理の仕方などを基礎から理解することができ、身に付けた力を3領域の学習で生かすことで「言葉による見方・考え方」を働かせる配慮がされている。</li> <li>・「てびき」で見通しをもち、段階的に学習を進められる。課題解決的な言語活動が多く用意され、協働で学びを深められる。二次元コードを導入や学習活動に活用したり、学力定着に活用したりできるなど、主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られる。</li> <li>・古典教材では、コラムや資料、解説文などで理解を深め、文化の継承を感じ取れるよう工夫している。また、地域の紹介文を書く活動を通して地域の魅力を再確認できるなど、故郷を愛し、慈しむ郷育の推進のための工夫が見られる。</li> </ul>
国語	書写	2 東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文字といっしょに」において、古典作品や名作文学を硬筆の行書で書いて味わうことで、文字文化への興味を喚起し、身の回りにある文字について新たな視点で考えることができるよう配慮がされている。</li> <li>・生徒にとって身近な場所といえるものに書店があるが、その書店で見かけることの多い「本のポップ」を作成する活動を行うことによって、身の回りの生活の中にある多様な言葉や文字文化を想起しやすくするような工夫が見られる。</li> <li>・書写における伝統的な用具・用材について日本地図を使いそれぞれの生産地を紹介することにより、我が国の伝統文化である書道を身近に感じ、郷土の誇りや郷土愛を育てることのできるような工夫が見られる。</li> </ul>
社会	地理的分野	2 東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的な見方・考え方を働かせるために、巻頭資料として「地理を学ぶ5つのミカタ」を設けて視点例を提示するとともに、単元の導入部分に「地理のミカタ」を設定し、意識化できるような配慮がされている。</li> <li>・説明や議論の充実を図るために、毎時間の「トライ」の中で説明する活動が取り込まれているとともに、各所・単元末に「みんなでチャレンジ」のコーナーが用意されており、その中で、書く、発表する、話し合うなどの個人活動やグループ活動が体系的に行えるような工夫が見られる。</li> <li>・郷土の誇りや郷土愛を育てるために、郷土の現在の課題を把握し、魅力的な地域にするための将来像を発表したり、相手の年齢や立場を考えて発信したり、学校のHPや動画共有サイトに投稿したりする学習活動を取り入れ、郷土の今日的課題を自ら解決するような工夫が見られる。</li> </ul>
社会	歴史的分野	225 自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のとらえ方」では歴史的分野の学習の導入段階で年代の表し方、時代区分等を概説し、その後の学習に生かせるようにしている。単元の終末に略年表形式で「対話とまとめ図のページ」が掲載されており、時代の特色と世界の動きを概観することができるように配慮されている。</li> <li>・各章の章末に、各時代の特徴を考えるページが設けられており、「歴史用語ミニ辞典」を生徒が3文でまとめ、作成するような工夫が見られる。ほかにも「ひとこと」作文、意見交換会などの多様な学習課題を提起し、学んだことを「自分で構造化」し、表現力を育むような工夫が見られる。</li> <li>・序章の「地域の歴史を調べる」では、古代から近代までの地元の遺跡等について調べるためのテーマを設定し、調査班ごとに調べる方法を示している。現地調査や博物館を訪ねる方法も示され、地域の歴史を明らかにしていけるような工夫が見られる。</li> </ul>

教科	種目	発行者番号 略称	採 択 理 由
社 会	公民的 分野	225 自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 章ごとに現代社会に見られる課題について考える「アクティブに深めよう」が配置され、身近な題材を基にグループでの話し合い活動や表にまとめる活動などを通して思考の整理ができるようになっている。これらの活動を通して、主体的に社会に関わる態度を養うきっかけとなるよう配慮されている。</li> <li>・ 各章の最後の「学習のまとめと発展」における学習の発展、及び終章のレポート、卒業論文、ディベートなどにおいて、生徒が主体的に思考し、判断し、表現することによって、公民として必要な主体的・実践的な能力を伸ばしていくことができるような工夫が見られる。</li> <li>・ 日本の文化伝統の中に、文化の調和と融合、社会の融和と連帯、勤労と勤勉、自然との共存があることを学習することで、科学・芸術・宗教について、敬意をもって根源的視点を学習できるとともに、日本の科学・芸術・宗教について、学習を深める工夫が見られる。</li> </ul>
社 会	地 図	46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理的な見方・考え方を働かせるために、巻頭資料として「この地図帳の使い方」を設けるとともに、各所に「社会的な見方・考え方」の視点に立った「地図で発見」の問いを設定するような配慮がされている。</li> <li>・ 説明や議論の充実を図るために、各見開きに設定されている「地図で発見」の問いに取り組むことで、資料を読み取ったり活用したりする学習、社会や自分のあり方を考えたりする学習が体系的に行えるような工夫が見られる。</li> <li>・ 郷土の誇りや郷土愛を育てるために、日本の各地方について「地方の資料」が用意されており、関東地方においても郷土の自然や産業(農業・工業・商業)・交通等の特色について調査できるとともに、比較・検討することで、郷土の今日的課題を考えられるような工夫が見られる。</li> </ul>
数 学	数 学	2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の「問」に対応した豊富な問題が巻末の補充問題へリンクできるようになっており、繰り返し練習することで、技能を習得できるよう配慮がされている。節末の「基本の問題」で、節ごとの基礎的・基本的な知識及び技能の確認や習得が図れるような配慮がされている。</li> <li>・ 単元の導入で、題材を日常の場面に設定し、生徒が課題を把握しやすいように工夫している。また、登場人物が疑問をつぶやくことで、視点をもちやすくし、対話のきっかけをつくることで生徒の主体性を生み出す工夫が見られる。</li> <li>・ 今日的な課題である「環境」「福祉」「防災・安全」「伝統・文化の尊重」「人権・多様性の尊重」に関わる題材を取り上げ、教育を通じて持続可能な社会づくり(ESD、SDGs)に、生徒が課題意識をもてるような工夫が見られる。</li> </ul>
理 科	理 科	2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元導入時に、漫画や写真で問題発見の場面を大きく取り上げ、日常生活の事象から感じた疑問を基に、問題を見いだしている。また、1見開き1時間構成と学びのフローチャートが記載されており、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。</li> <li>・ 探究活動の流れの中で、「活用」や「ふり返し」では学習したことを活かして、考えを深められる場面を設定している。また「じっくり探究」では、具体的な思考の流れの例や理科の見方・考え方を適宜示すことで、深い学びにつなげるなど、科学的に思考するための工夫が見られる。</li> <li>・ カーボンニュートラルを実現するために、求められる取組について紹介する中で、発電方法との関連について触れている。カーボンニュートラルと地域との関連について考えることで、我が国と郷土を愛する心を育成する工夫が見られる。</li> </ul>

教科	種目	発行者番号 略称	採 択 理 由
音 楽	一 般	27 教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「My Voice！」は、歌唱表現に関する基礎的な学習内容や、発達段階を踏まえた発声について記載されている。「音楽の約束」は、二次元コードもあり、音を通して基礎的・基本的な用語や記号を随時振り返ることができるよう配慮がされている。</li> <li>・創作教材では、活動手順が明記されている。二次元コードからアクセスするデジタルコンテンツは1人1台端末環境で活用でき、思いを反映する学習を支援する工夫が見られる。鑑賞教材では、オペラと歌舞伎を比較するような工夫が見られる。</li> <li>・表紙裏に日本の伝統芸能に携わっている音楽家の紹介があり、伝統と革新におけるメッセージが掲載されている。音や音楽が生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかに意識を向けられるような工夫が見られる。</li> </ul>
音 楽	器 楽 合 奏	27 教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材には、アルトリコーダーの運指図が掲載され、コンテンツを活用することで伴奏に合わせて楽しみながら技能を身に付けることができるような配慮がされている。また、巻末には運指表やコード表を掲載し、個別に技能を身に付けることができるような配慮がされている。</li> <li>・リコーダー、ギター、打楽器などの既習楽器を用いて演奏できる様々な独奏やアンサンブルの楽譜を多数掲載するなど、創意工夫を生かした多様な音楽活動を体験しながら、主体的・対話的な学びが展開できるような工夫が見られる。</li> <li>・和楽器を取り上げる内容では、楽器の基本的奏法や唱歌が示され、比較的容易に表現できるような教材が選択されている。また、その楽器が用いられる郷土の祭りや芸能について紹介されており、我が国の伝統的な音楽や楽器に親しみがもてるような工夫が見られる。</li> </ul>
美 術	美 術	38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活で美術が果たしている役割が具体的に示されている。「私たちに問いかける美術」「暮らしの中のデザイン・工芸」「美術の力」では、社会における美術の働きや、生活の中のデザインの役割などを提示し、美術の学びと実生活、実社会とのつながりが実感できるように配慮されている。</li> <li>・全ての題材において、「表現」と「鑑賞」がアイコンで示されており、学習の流れが明確で、主体的な学習を促すよう工夫されている。また、生徒の試行錯誤の様子や制作過程の詳しい表示、対話を促す発問があることで、作品作りへの思いを高め、対話的な学習を促す工夫が見られる。</li> <li>・全体を通して多様な日本美術が掲載されている。特に日本の工芸品を都道府県ごとに扱い、郷土芸術との触れ合いが設定されている。また、日本だけでなく、様々な国の芸術作品を網羅し、世界の視点から改めて日本美術を認識できるような工夫が見られる。</li> </ul>
保健体育	保健体育	224 学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エクササイズ」において、スポーツの行い方（イーブンチャンス）について協働的な学びで解決するようになっている。「学びを生かす」においては、大人になったときの楽しみ方のポイントや環境を考えられるように配慮されている。</li> <li>・「エクササイズ」では、自分の課題を確認し、「学びを生かす」では、資料を参考にしながら、協働的に課題解決できるような工夫が見られる。また、次の1単位時間で、リラクゼーションの方法について、課題解決学習となるような工夫が見られる。</li> <li>・自然災害、災害への備えと発生時の行動について課題解決学習ができるようになっている。「エクササイズ」や「学びを生かす」において、地震後を想定した場面を設定し、自分がどのような行動をとるべきか話し合う活動に工夫が見られる。</li> </ul>

教科	種目	発行者番号 略称	採 択 理 由
技術・家庭	技術分野	2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身の問題解決に導くために、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作、制作、育成」「成果の評価、改善・修正」の流れを統一的に示すとともに、PDCAサイクルに着目し、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるような配慮がされている。</li> <li>問題の設定では、問題発見と課題設定の例として、技術の見方・考え方を働かせて家庭や学校、地域の中で問題を発見する例や問題の構造化を紹介している。様々な視点や思考ツールを活用し主体的・対話的な学習の工夫が見られる。</li> <li>生物育成の分野における諸課題と解決に向けての取組について「技術の匠」として紹介されている。生物育成の技術と社会・地域貢献の関わりについて学ぶことができ、生徒の郷土愛を育む工夫が見られる。</li> </ul>
技術・家庭	家庭分野	2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能の習得のために、基礎的な技能を用いてできる実習例が写真やシンプルな作り方で掲載されているとともに、工夫を広げるアレンジ例や幅広い難易度の題材などを取り上げ、意欲を高めながら技能を身に付けるような配慮がされている。</li> <li>「問題の発見→課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦」といった問題解決のプロセスを「Warm up」で説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説して、生活の中で自ら課題解決に取り組むための工夫が見られる。</li> <li>消費者トラブルの事例を漫画で取り上げ、低年齢化する消費者トラブルの防止に役立つような工夫が見られる。また、郷土に伝わる食文化を多数例示し、郷土の伝統に誇りや愛着をもち、継承への意識が高められるような工夫が見られる。</li> </ul>
外国語	英 語	9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元において、Scene、Tuning in で基本的な知識や技能を習得し、Review &amp; Retell、Action で、スモールステップで本文の内容を理解し活用する言語活動を繰り返し設定することで、コミュニケーションを図ることができるよう配慮されている。</li> <li>マンガ形式で目的・場面・状況が一目で分かるように新出表現を導入し、段階的に単元末のActionで自己表現活動を設定している。基礎固めから仕上げに向けて無理なく力を付けられるような言語活動を充実させる工夫が見られる。</li> <li>日本の食文化の弁当等を話題として取り上げ、伝統と文化を尊重するとともに、日本の食文化について考えを深め、日本の伝統・文化のよさを海外に発信し、新たな視点から自国への理解を深めるような工夫が見られる。</li> </ul>
特別の教科 道 徳	道 徳	2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「道徳科とは」のところで、「ほかの人の感じ方や考え方」を学び、一つの内容項目に複数の人の立場から考えられる教材を通して、多面的・多角的に物事を考えられるような配慮がされている。</li> <li>読み物教材に加え、多種多様な教材が掲載されており、生徒の学習意欲を喚起することができるような工夫が見られる。また、生徒が考えたことを各自メモできる欄が各教材に設けてあり、話合いや振り返りに活用できるような工夫が見られる。</li> <li>複数教材を通して、いじめ問題に向き合うことができるように配慮されており、教材文やイラストから、いろいろな立場の登場人物に自我関与することで、いじめ問題について考えられるような工夫が見られる。</li> </ul>